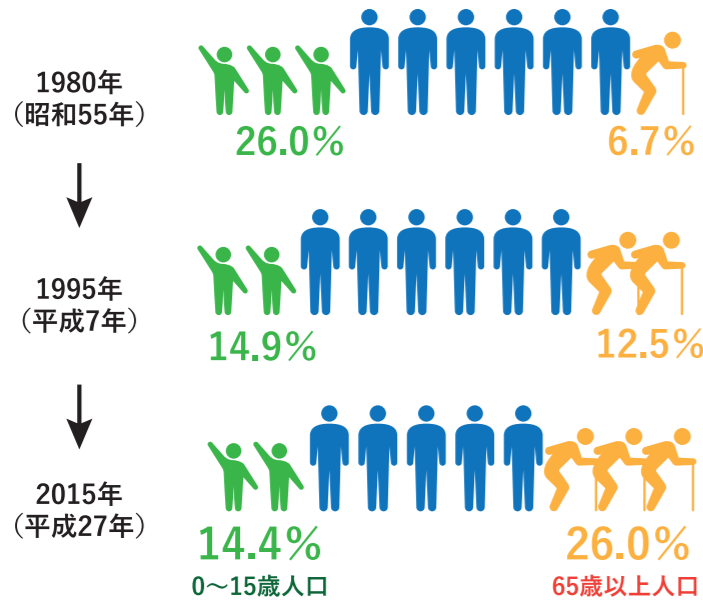


## 扶桑町のすがた

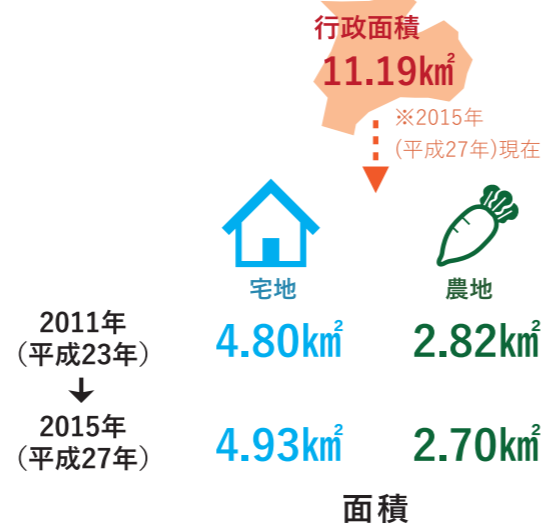
### 【ひと】

町制施行以来おおむね人口の増加が続いている一方で、少子高齢化も進んでおり、超高齢社会に突入しています。



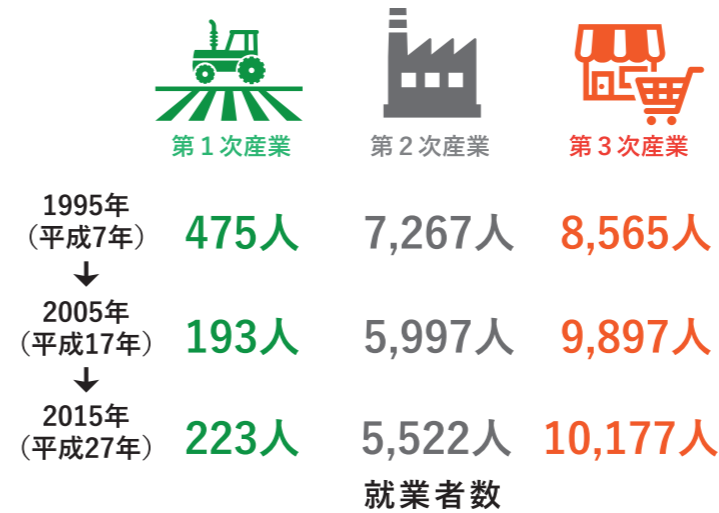
### 【土地利用】

宅地として利用している面積が最も多く、その広さも増加傾向にあります。一方で、農地として利用している面積は近年減少傾向にあります。



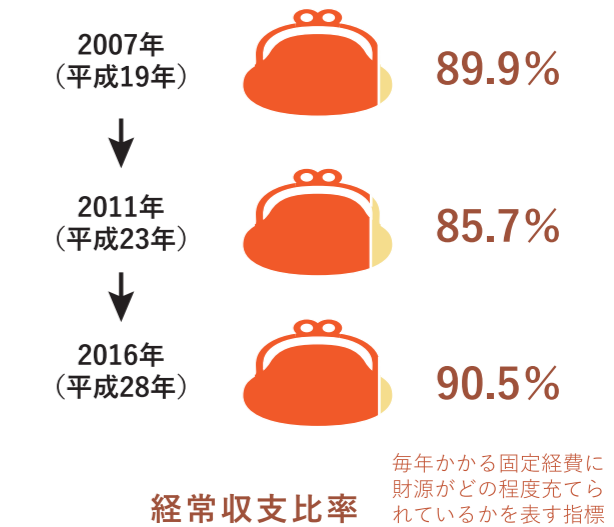
### 【産業】

今後は少子高齢化がいつそう進行すると想定されるため、就業者数の大きな増加は見込めません。産業の種類別にみると、小売・卸売業をはじめとした第3次産業就業者が多くなっています。



### 【財政】

毎年経常的に支出する経費の割合が高いことから、ほかに使える財源に余裕があるとは決して言えません。

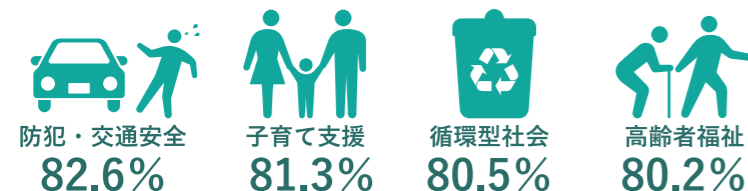


## 主な住民参画

### 【意識調査】

- 町民意識調査  
扶桑町にお住まいの20歳以上の男女
- 企業・事業所意識調査  
扶桑町内にある250の企業・事業所
- 団体意識調査  
扶桑町内にある50の団体

町民意識調査では、「交通安全・防犯」「子育て支援」「循環型社会」「高齢者福祉」など安全・安心や福祉に関する分野が重要だと考える割合が高いことがわかりました。

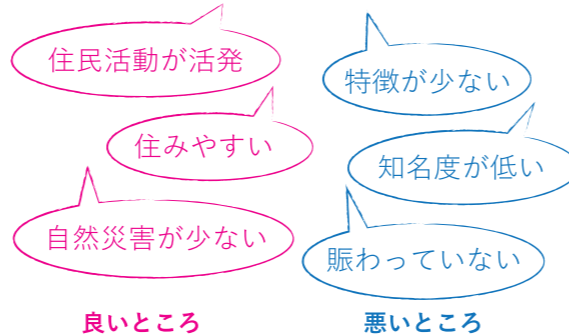


町民意識調査において重要度（重要 + やや重要の割合）が高い項目

## 住民と職員の協働

### 【ふそう町民会議】

町民と若手行政職員が主体的に学び、話し合いをしながら「これからの扶桑町のまちづくり」について検討し、それぞれのアイデア・提案をまとめ示した「10年後の扶桑町がめざす姿」から、「みんな」というキーワードが生まれました。



### 【総合計画審議会】

各分野の専門家や町内団体の代表者等が集まり、総合計画の内容について審議を重ねました。

## 主な職員参画

### 【策定委員会・作業部会】

多数の町職員が計画の策定に関与し、十分な議論を重ねた末に、その結果を今回の計画に反映しました。

### 10年後の扶桑町がめざす姿

